

## 平成 22 年度 第 1 回札幌市自然由来重金属検討委員会

# 議事要旨

1 日 時 平成 22 年 11 月 29 日 ( 月 ) 14:00 ~ 16:45

2 場 所 札幌市役所本庁舎 12 階 5 号会議室

### 3 出席委員

委員長 五十嵐 敏文

( 北海道大学大学院工学研究科教授 )

委 員 伊東 佳彦

( 独立行政法人土木研究所寒地土木研究所防災地質チーム上席研究員 )

委 員 遠藤 祐司

( 地方独立行政法人北海道立総合研究機構環境・地質研究本部地質研究所  
資源環境部資源環境グループ 主査(素材資源) )

委 員 神 和夫

( 北海道立衛生研究所健康科学部長 )

委 員 福士 明

( 北海学園大学法学部教授 )

### 4 事務局出席者

札幌市環境局環境都市推進部 湯浅 正和 ( 環境管理担当部長 )

鈴木 欣哉 ( 環境対策課長 )

環境対策課

### 5 議題

( 1 ) 議題 1 札幌市自然由来重金属検討委員会の設置及び諮問について

( 2 ) 議題 2 平成 22 年度札幌市自然由来重金属検討委員会の進め方について

( 3 ) 議題 3 自然由来重金属を含む建設発生土の取扱いについて

### 6 配布資料

( 1 ) 次第

( 2 ) 出席者名簿

( 3 ) 座席表

( 4 ) 資料 1 札幌市自然由来重金属検討委員会設置要綱

( 5 ) 資料 2 札幌市自然由来重金属検討委員会への諮問について

( 6 ) 資料 3 平成 22 年度札幌市自然由来重金属検討委員会の進め方について

( 7 ) 資料 4 建設発生土の減量について

( 8 ) 資料 5 自然由来重金属を含む建設発生土の移動管理について

( 9 ) 資料 6 地下水のリスク管理について

( 10 ) 資料 7 効果的なリスクコミュニケーションのあり方について

## 7 議事概要

- (1) 開会挨拶（事務局 湯浅環境管理担当部長）
- (2) 委員紹介  
5名の学識経験者の委嘱及び紹介並びに事務局の紹介
- (3) 議題1 札幌市自然由来重金属検討委員会の設置及び諮問について  
札幌市自然由来重金属検討委員会設置要綱について了承  
委員の互選により、五十嵐委員長を選任  
札幌市自然由来重金属検討委員会へ諮問（事務局 湯浅環境管理担当部長）
- (4) 議題2 平成22年度札幌市自然由来重金属検討委員会の進め方について  
事務局が資料3を説明し、検討対象の建設発生土は市街地建設発生土とし、検討対象工事は市発注の公共工事とすることについて了承が得られた。  
検討事項は、自然由来重金属を含む建設発生土の移動管理、地下水のリスク管理、効果的なリスクコミュニケーションのあり方とすることについて了承が得られた。  
検討スケジュールについて了承が得られた。  
検討委員会と庁内ワーキングを交互に開催し、現実的な取扱方法を策定するとの進め方について了承が得られた。
- (5) 議題3 自然由来重金属を含む建設発生土の取扱いについて
  - ア 自然由来重金属を含む建設発生土の移動管理について  
事務局が資料4及び5について説明。  
過年度の委員会の審議経過について、答申を元に再確認を行なった。  
建設発生土の取扱いに係る課題を整理し、委員間の情報共有を行った。
  - イ 地下水のリスク管理について  
事務局が資料6を説明。  
建設発生土搬出先周辺の地下水質管理方法案及び市内全域の地下水質管理方法案について、了承が得られた。  
ヒ素の健康リスクについて、以下の意見があった。
    - ・市内の地下水のヒ素濃度レベルは、リスクとしてそれほど大きくはなく、地下水を飲用しなければ健康リスクは極めて低い。今後も飲用指導と地下水調査を継続していくことを考えると、市内の健康リスクに関する行政の対応としては、概ね満足できるものであると思われる。
  - ウ 効果的なリスクコミュニケーションのあり方について  
事務局が資料7を説明。  
基本的な考え方（案）について了承が得られた。  
自然由来重金属に関する公表等の考え方について、以下の意見があった。
    - ・行政で実施している対策が正確に伝わり、市民に不安を与えない形で情報提供をすべきである。
    - ・公表については、土地取引に係る判例に配慮しながら行う方が良い。
- (6) 閉会挨拶（事務局 鈴木環境対策課長）